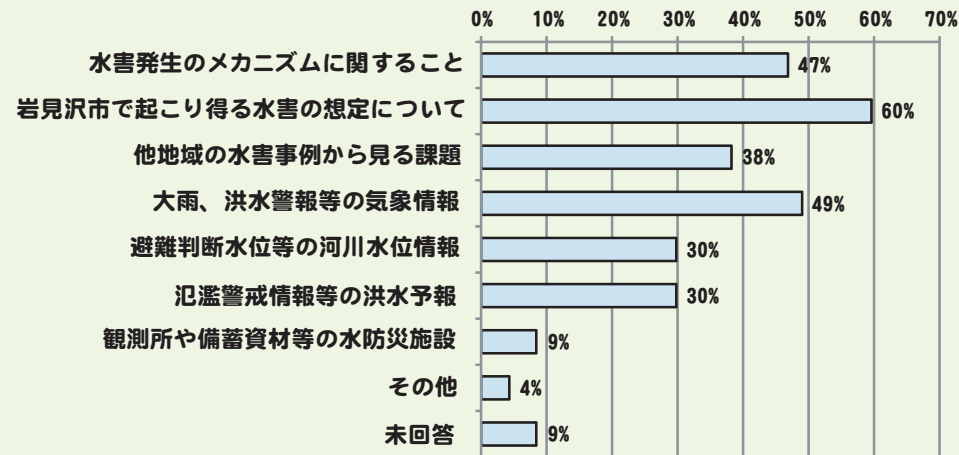


参加者の方々からの声

研修終了後に、参加者の皆様にアンケートをお願いし、多くの方からご回答をいただきました。結果の一部をご紹介します。

● 講演・情報提供の中で、新しく学んだことや今後の参考になったことは？（複数回答）



講演については、「普段あまり知ることのない情報をいろいろと学ぶことができ、とてもわかりやすい話だった」という意見を多く頂きました。また「講演の時間が短く残念だった」というご意見も頂きました。情報提供については、「日頃あまり馴染みのない専門的な内容だったため、短い時間の中で理解することが難しい」とのご意見もありました。

● DIGで水害発生のイメージや対応すべき事項の整理ができましたか？（自由記述）

(原文)

- もう少し事例や具体策の話をしたい。
- 普段はこういった話し合いをする機会が無く有意義だった。もう少し深く討論できると良い。
- 岩見沢市における、災害対応についての問題点をあらたに学ぶことができ、とてもためになった。
- 実際に起こりえることに対して、議論して課題等が明確になった。
- 普段は、現場対応で精一杯だったが、客観的に考えることができた。
- 日々の業務の進め方についてのヒントや再認識がえられた。
- シナリオの規模が大きすぎてイメージしづかった。もう少し具体的な内容があった方が良い。
- いつも心がけているが、再確認できた。

今回の取り組みについて

今回の「大規模水害への備えを考える水防研修」は、石狩川流域の各主要地域の水防災力向上のため、南空知圏域の中核都市である岩見沢市をモデル地区として、北海道開発局札幌開発建設部が主催したものです。今後も皆様からのご意見を踏まえて結果を検証し、このような取組に活かしていきたいと考えております。

ご意見やお問い合わせは下記までお気軽にお寄せください。

札幌開発建設部 河川管理課 担当：溝淵
〒060-8506 札幌市中央区北2条西19丁目
電話 011-611-0340 / FAX 011-612-0826
札幌開発建設部ホームページ <http://www.sp.hkd.mlit.go.jp/>

NewsLetter

岩見沢市水防研修

「大規模水害への備えを考える」

北海道開発局 札幌開発建設部

岩見沢市水防研修「大規模水害への備えを考える」を開催いたしました。

日 時 平成 24 年 11 月 7 日 (水)

10:00 ~ 16:00

場 所 岩見沢市役所 3 階会議室

参 加 者 岩見沢市職員 63 名

この研修会では市職員の方々を対象に、午前の部では講演と情報提供、午後の部では図上演習とグループ討議を行いました。



研修の様子

「岩見沢市職員水防研修」開催の趣旨

今回の水防研修は、市職員が地域の特性を理解し、防災関係機関とともに地域で起こり得る大規模水害への備えと初動期の対応について考え、岩見沢市の水防災力向上を目的に開催しました。

「大規模水害への備えを考える」水防研修のプログラム

【午前の部 10:00 ~ 12:00】

1. 主催挨拶 札幌開発建設部 河川管理課 課長補佐 宮崎 俊行
2. 開会挨拶 岩見沢市 総務部 住民自治・安全安心推進担当次長 前山 博邦 氏
3. 講演 「岩見沢市で起こり得る水害と対応について」 室蘭工業大学名誉教授 藤間 聡 氏
4. 情報提供① 「気象情報について～平成 24 年 9 月中旬の大雨などから～」
札幌管区气象台 技術部 気象防災情報調整官 志田 昌之 氏
5. 情報提供② 「河川水位情報、防災情報について」
札幌開発建設部 河川管理課 洪水予報スタッフ 治水専門官 溝淵 雄介
6. 質疑応答

【午後の部 13:10 ~ 16:00】

7. 災害図上演習 (DIG) 大規模水害シリオによる水害発生のイメージ化
8. グループ協議 大規模水害に関する対応と課題の協議
9. 総括 室蘭工業大学名誉教授 藤間 聡 氏
10. 閉会挨拶 岩見沢市 総務部 住民自治・安全安心推進室長 菊田 守孝 氏

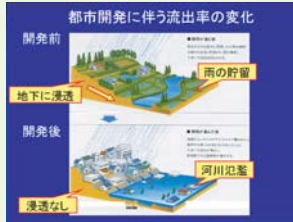


室蘭工業大学名誉教授 藤間聡先生に「岩見沢市で起こり得る水害と対応について」と題して、講演を行っていただきました。

岩見沢市の過去の主な豪雨災害のデータ分析結果から、近年発生した豪雨災害の傾向や今後起こり得る可能性のある災害についてのお話がありました。近年増加傾向にある集中豪雨や市街地の拡大による内水氾濫の危険性の増大や、安全に避難するための情報伝達方法、地域毎のオリジナルハザードマップ作成のすずめなどについて講演していただきました。

講演

- 「岩見沢市で起こり得る水害と対応について」
室蘭工業大学名誉教授 藤間 聡 氏



- 「気象情報について～平成24年9月中旬の大雨などから～」
札幌管区気象台 技術部 気象防災情報調整官 志田 昌之 氏

気象台が発表する気象情報（解析雨量・土壌雨量指数・流域雨量指数）についての見方と、防災情報提供システムについてご紹介しました。防災情報提供システムは、登録してマイページを作成したり、PDF化することで庁内にメールで配信することが可能となるため、是非活用してほしいとお話がありました。

情報提供

- 「河川水位情報、防災情報について」
札幌開発建設部 河川管理課
洪水予報スタッフ 治水専門官 溝淵 雄介

洪水時に発表される防災情報の種類や水位情報の確認方法について情報提供をしました。「川の防災情報」は、携帯電話でも入手できることや、河川事務所の役割、各地域へのバックアップ体制、災害対策車の出動の流れについて説明しました。



演習は、災害時に市に設置される災害対策本部の部署ごとに7グループに分かれ、課題や対策について話し合っていました。昭和56年8月上旬水害をもとに想定した水害シナリオから状況をイメージして頂き、各場面における対応や課題点などについて各グループ内で意見を出し合い、最後にグループリーダーから検討内容を発表していただきました。



災害図上演習

グループ討議

- 「大規模水害」をイメージし、水防災に関する対応と課題について話し合いました

- 「避難準備情報の発令時」市の対応および課題

【主な意見】

- 日頃から天候が不安定な時は職員が気象情報や防災情報を収集する体制となっており、自発的に登庁する仕組みとなっている。
- 各部署ごとにマニュアルがある。また平時からどのような行動で対応すべきかを話し合っている。
- 「避難準備情報」という言葉を知らない市民に対しても、危険性などの表現をわかりやすいように、工夫して伝える。
- 勧告・指示地域内で避難を拒む市民に対して、避難を促す方法を検討する必要がある。

- 「避難勧告の発令時以降」市の対応および課題

【主な意見】

- 避難所を開設する。避難所の運営や食糧確保についても今後整理する必要がある。
- 屋外防災無線を活用して市民に周知する。市と町内会の連絡網の統合など、住民へのより確実な情報周知方法を検討する必要がある。
- 災害時要援護者への対策も含め、住民に対する防災教育を推進することが大切である。



最後に藤間先生から、全体のまとめと感想を頂きました。「本日のグループ発表を聞いて、岩見沢市職員の防災意識のレベルの高さを感じました。またそれぞれの部署での体制も組織化されており、これからも市民の安全のためにさらなる体制を作っていくしてほしいと思います。」

公務でお忙しい中、たくさんの職員の方々にご参加頂き、また熱心な意見交換をして頂きありがとうございました。これからも市民の皆様が安全に安心して暮らせることを願っております。

